

第 27 回日本腎不全看護学会学術集会・総会 ワークショップ報告書

1. 日時

2024 年 11 月 10 日（日）9:10～10:40

2. 場所

第 3 会場：富山国際会議場 2F 201・202

3. ワークショップ演題

ワークショップ 3『CKDLN の未来をデザインする -CKDLN の地域連携-』

4. 目的・目標

【目的】

CKDLN の抱える課題を解決するための一つの手段として地域において CKDLN を組織化する。

【目標】

地域における CKDLN の連携体制のあり方、組織としての活動のあり方、そして組織化をすすめるうえでの課題をあきらかにする。

5. 実施内容

構成	
① オープニングリマークス	担当者:江上 豊(CKDLN 委員会委員長)
② 講演 1	演題:ワークショップのご案内 演者:本井 裕二(CKDLN 委員会副委員長) 内容:ワークショップの目的・目標やグループワークの方法等についての説明
③ 講演 2	演題:熊本県内の CKDLN の活動報告 演者:城間 久美絵(熊本赤十字病院 腎センター, 透析看護認定看護師, 慢性腎臓病療養指導看護師) 内容:CKDLN の地域連携の実際についての報告
④ グループワーク	テーマ:みんなで考えよう、CKDLN の地域連携 ファシリテーター:杉谷 珠美, 石原 文緒, 由井 淑子, 塩野入 悦子, 藤野 陽子, 井島 順子, 三宅 よしえ, 山口 洋子, 本井 裕二(以上、CKDLN 委員会委員 9 名) 城間 久美絵, 和泉 秀俊, 安川 秀樹, 浅井 敦子, 鈴木 智恵, 杉本信子 (以上、CKDLN 都道府県代表 6 名)
⑤ アンケート	CKDLN の地域連携についてのアンケートを実施
⑥ クロージングリマークス	担当者:江上 豊(CKDLN 委員会委員長)

6. 結果

ワークショップ参加者は 48 名であった。アンケート回答者は、ワークショップ当日紙媒体で回答した者 27 名、当日以降に web アンケートに回答した者 12 名の計 39 名であった（回収率 81.3%）。

7. 今後の予定

1) アンケート結果の検討

アンケート結果の収集は終了している。結果分析のためアンケート結果のまとめ作業を現在実施中である。今後は CKDLN 委員会にて結果を分析し、本ワークショップの目的に照らし、交流集会の結果も加味したうえで今後の活動方針およびアンケート結果の公表について検討を行う予定である。

2) ワークショップの評価

アンケート結果の分析が終了したのち、ワークショップ自体の評価を行う予定である。